

2012年3月期 年度決算の概要



興銀リース株式会社

(証券コード:8425)

2012年5月9日

本資料には将来の予測数値が含まれております。こうした記述は、現時点における事業環境において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる可能性がありますのでご留意下さい。

I. 決算ハイライト

興銀リースグループは国内・海外を含めた新たな発展段階へ

【2011年度 決算概況】

○決算状況は、信用コストの大幅増(大口破綻先、業況懸念先への予防的対応等)に加え、買収に伴う一過性の特別損失計上等により減益

— 営業利益:前期比 31%減の 107 億円、当期純利益:同 52%減の 43 億円

○東芝グループ関連2社の買収により、新たな発展に向けて興銀リースグループの事業基盤は一段と拡充

— 契約実行高:前期比 19%増の 4,260 億円

— 営業資産残:前期比 30%増の 1 兆 2,113 億円

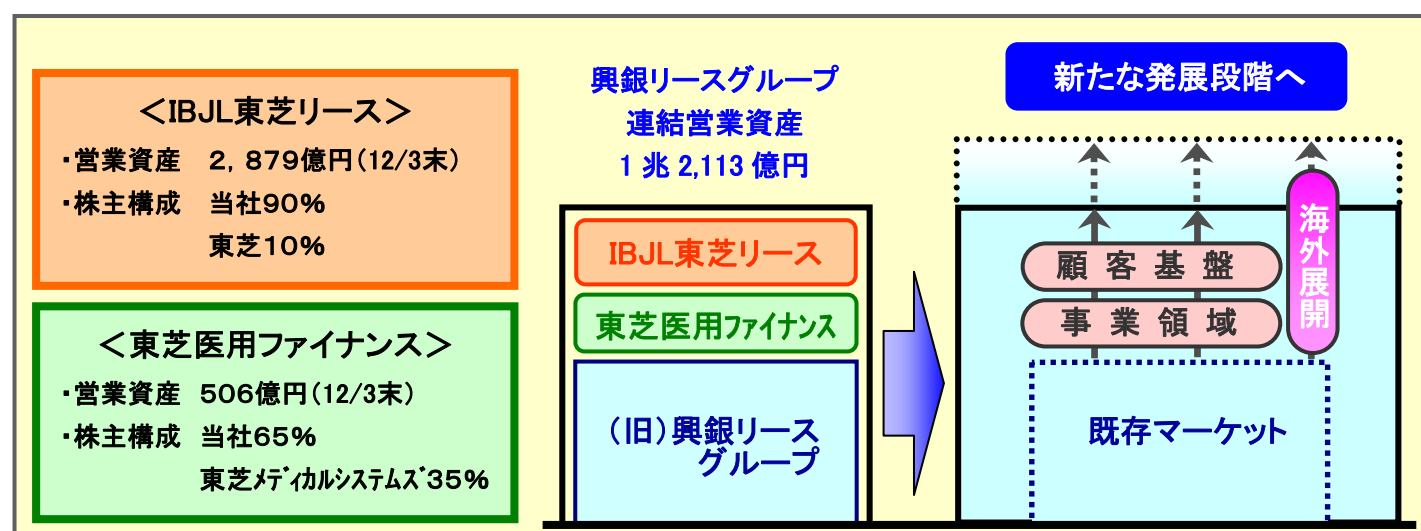
【2012年度 業績予想】

○通期業績予想は買収2社を含めた当社グループシナジー効果の本格的発揮が見込める一方、足許の厳しい競争環境等を踏まえて慎重に策定

— 営業利益:150 億円、経常利益:155 億円、当期純利益:90 億円

(単位:億円)

	2010/3 期	2011/3 期 ①	2012/3 期 ②	増減額 ②-①	増減率	2013/3 期 通期業績予想
売上高	2,636	2,561	2,701	+140	+5.5%	3,500
売上総利益	295	311	313	+2	+0.7%	—
営業利益	113	154	107	▲47	▲30.8%	150
(信用コスト)	(56)	(23)	(60)	(+37)	(+163.2%)	—
経常利益	121	159	111	▲48	▲29.9%	155
当期純利益	70	90	43	▲47	▲52.4%	90



Ⅱ. 損益状況

【全体概要】

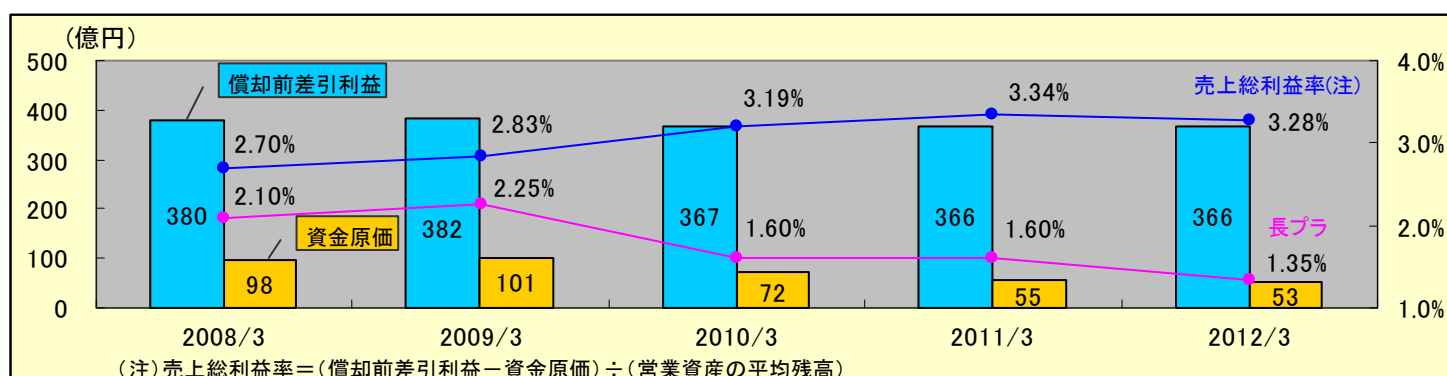
- 経常収入は横這いに留まる一方、経常費用は予防的引当の実施等により大幅に増加
 - 経常収入: 374 億円 → 375 億円: + 1 億円
 - 経常費用: 216 億円 → 264 億円: +48 億円(信用コスト+37 億円)
- 一般経費増加の大宗は買収2社の経費加算によるもの
- 信用コストは大口破綻先への引当・業況懸念先に対する予防的引当等により大幅増
- 特別損失(投資有価証券売却損)は買収に伴う一過性の費用負担
- 税率変更に伴う繰延税金資産の取崩額は 8 億円

(単位: 億円)

	2010/3 期	2011/3 期①	2012/3 期②	増減額②-①	増減率
経常収入 (a)	387	374	375	+1	+0.1%
償却前差引利益	367	366	366	+0	+0.1%
受取利息・配当	13	2	3	+1	+11.9%
連結持分法利益	5	5	1	▲4	▲89.3%
投資収益	—	0	4	+4	—%
経常費用 (b)	266	216	264	+48	+22.2%
資金原価	72	55	53	▲2	▲3.2%
支払利息	9	4	3	▲1	▲23.3%
一般経費	126	133	145	+12	+9.2%
信用コスト	56	23	60	+37	+163.2%
経常利益 (a-b)	121	159	111	▲48	▲29.9%
(償却前経常利益)	(177)	(182)	(171)	(▲11)	(▲5.7%)
特別損失	▲1	▲4	▲16	▲12	▲260.1%
当期純利益	70	90	43	▲47	▲52.4%

【売上総利益率】

低金利が継続する中、新旧営業資産の入替により売上総利益率は若干低下(▲0.06%)



Ⅲ. 財政状態

【資産サイド】

- 営業資産は前期末比 30%増(+2,827 億円)の 1 兆 2,113 億円
 - 物融資産:8,674 億円(+2,267 億円)、金融資産:3,439 億円(+560 億円)
 - 営業資産における物融資産構成比は 72%に上昇

(単位:億円)

	2010/3 末	2011/3 末 ①	2012/3 末 ②	増減額 ②-①	増減率
物融資産	6,610	6,407	8,674	+2,267	+35.4%
(リース)	(5,535)	(5,462)	(7,551)	(+2,089)	(+38.3%)
(割賦)	(1,075)	(945)	(1,122)	(+177)	(+18.8%)
金融資産	2,742	2,879	3,439	+560	+19.4%
(貸付)	(2,374)	(2,419)	(2,950)	(+531)	(+21.9%)
(営業投資有価証券)	(368)	(460)	(489)	(+29)	(+6.2%)
営業資産	9,352	9,286	12,113	+2,827	+30.4%
総資産	10,171	10,280	13,330	+3,050	+29.7%

【負債・資本サイド】

- 有利子負債全体は買収2社分が加わり 2,559 億円増加の 1 兆 1,335 億円
 - カバンク・地銀等との幅広い関係をベースとした安定的な資金調達基盤を堅持
 - 引き続き低金利メリットを享受すべくグループ全体でCP調達を積極活用
 - IBJL東芝リースは本体と同等の格付取得【「長期:A、短期:J-1」(JCR)】
- 純資産は前期比 53 億円増加の 747 億円
 - 自己資本比率は買収に伴う資産増加により 5.3%の水準

(単位:億円)

	2010/3 末	2011/3 末 ①	2012/3 末 ②	増減額 ②-①	増減率
長短借入金	5,134	5,173	7,216	+2,043	+39.5%
市場調達	3,552	3,603	4,119	+516	+14.3%
(うちCP)	(3,027)	(3,273)	(3,731)	(+458)	(+14.0%)
有利子負債	8,686	8,776	11,335	+2,559	+29.2%
純資産	633	694	747	+53	+7.7%
(うち株主資本)	(614)	(687)	(712)	(+25)	(+3.7%)
自己資本比率	6.1%	6.7%	5.3%	▲1.4%	—

IV. 営業状況

【契約実行高】

- 物融分野・金融分野何れも純増し、グループ全体では前期比 19%増の 4,260 億円
 — 大企業向け契約実行高も 21%増の 2,355 億円

(単位:億円)

	2010/3 期	2011/3 期 ①	2012/3 期 ②	増減額 ②-①	増減率
物融分野	2,162	2,216	2,365	+149	+6.7%
リース	1,766	1,868	1,923	+55	+2.9%
割賦	395	348	442	+94	+27.1%
金融分野	1,236	1,367	1,894	+527	+38.6%
貸付	1,087	1,211	1,672	+461	+38.0%
営業投資有価証券	149	156	223	+67	+43.1%
合計	3,398	3,583	4,260	+677	+18.9%
(大企業向け)	(1,821)	(1,951)	(2,355)	(+404)	(+20.8%)

(参考)リース取扱高(2011年度速報値):前期比0.9%増(リース事業協会発表)

【物融分野の状況】

○物融契約実行高は前期比 6.7%増の 2,365 億円

- ・産業工作機械:円高、震災等の影響により自動車関連の設備投資が低調
- ・輸送用機器:被災地の大型車導入ニーズを捕捉、航空機関連オペリースも寄与
- ・土木建設機械:中国での増加ペースは減速するも国内の復興需要が寄与
- ・情報通信機器:通信設備の更新需要を捕捉、加えてIBJL東芝リースが寄与
- ・医療機器:シーメンスとの営業連携に加え、東芝医用ファイナンスが新規寄与

<物融分野の機種別契約実行高>

(単位:億円)

	2010/3 期	2011/3 期①	2012/3 期②	増減額②-①	増減率
産業・工作機械	505	621	384	▲237	▲38.1%
輸送用機器	224	290	335	+45	+15.4%
土木建設機械	232	275	372	+97	+35.2%
情報通信機器	468	434	576	+142	+32.9%
商業・サービス業用機器	245	241	217	▲24	▲9.6%
医療機器	82	92	197	+105	+113.2%
その他の機種	406	263	283	+20	+7.5%
合計	2,162	2,216	2,365	+149	+6.7%

V. 通期業績予想について

【環境認識】

- 欧州債務問題の長期化、欧米経済の減速懸念、円高・原油高等により全体の景気回復には引き続き時間を要する、との慎重な認識
- 金融円滑化法の期限到来により中小企業の倒産件数は緩やかに増加の見込み

【営業方針】

- 「法人向けの総合金融サービスグループ」としてのステップアップ
 - 連結経営強化によるグループシナジー効果の徹底追求 —
 - ・成長性、収益性を見据えた事業展開
 - ・専門金融分野の強化・拡充
 - ・新規分野、成長分野への取り組み加速
 - ・「中国、タイ、インドネシア」等、アジアにおける日系営業の積極拡大

【通期業績予想】

- 買収2社の通期業績寄与に加えグループシナジー効果の本格的発揮が見込まれる一方、足許の厳しい競争環境等を踏まえ通期業績予想は慎重に策定

【配当予想】

- 年間配当金：1株当たり@50円（中間：24円、期末：26円）
 - 1株当たり年間配当予想は前期比2円増の@50円 → 11期連続増配の予定

【通期業績予想】

（単位：億円）

	2012/3 実績①	2013/3 通期業績予想②	増減額②-①	増減率
売上高	2,701	3,500	+799	+29.6%
営業利益	107	150	+43	+40.3%
経常利益	111	155	+44	+39.3%
当期純利益	43	90	+47	+109.4%

【1株当たり配当予想】

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度①	2012年度②	増減額②-①
中間配当	20円	20円	22円	24円	24円	—
期末配当	20円	(4)24円	24円	24円	26円	+2円
年間配当	40円	(4)44円	46円	48円	50円	+2円

(注)カッコは、内数で創立40周年記念配当

以上

(参考) 通期連結損益の推移

(単位: 億円)

	2008/3 期	2009/3 期	2010/3 期	2011/3 期	2012/3 期	2013/3 期(予想)
売上高	3,413	2,987	2,636	2,561	2,701	3,500
償却前差引利益	380	382	367	366	366	—
資金原価	98	101	72	55	53	—
売上総利益	265	281	295	311	313	—
営業利益	115	68	113	154	107	150
(実質信用コスト)	(36)	(85)	(56)	(23)	(60)	—
経常利益	122	68	121	159	111	155
当期純利益	78	33	70	90	43	90

